

## 第2回地区住民意見交換会 主な意見と対応

宝立地区	
日時：8月20日(火) 18:00～20:30 参加者数：108人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■仮設住宅</b>	
・仮設住宅に正式な駐車場がない。	・9月末完成予定。場所については確認して連絡する。
<b>■災害公営住宅</b>	
・転出が多い中で残った人数に応じて建設する認識か。東日本では余った事例はあるか。	・解体して家がなくなった人が対象となる。珠洲市を離れている人も対象になるので、正確な必要数を把握することが大事である。宝立のどこにどんな形で建てていくのか議論し必要戸数を考えていきたい。
・善野地区に災害公営住宅を建ててもらえるか。	・地域の皆さんでそのようにおっしゃっていただければ対応する。具体的にどのような世帯で何戸必要か、場所はどこか議論いただきたい。
・災害公営住宅の戸建て住宅の例は素晴らしい。早く進めて欲しい。	・用地を確保してから2年以上かかる。短縮できるか考えていきたい。
<b>■公費解体</b>	
・解体が進んでいるが、跡地で草が生えてくる。	・雑草の対策は難しい。個人対応となる。更地の活用についても考えていただきたい。
・解体後の土地の固定資産税であるが、住まない土地に税を払い続けるのは心理的にも負担になる。	・配慮していきたい。宅地については2年間の猶予がある。
・公費解体について、業者間の連携が悪く、解体が中断されている。	・担当課が確認する。
<b>■生活再建</b>	
・準半壊以下の人に補助が全然ない。	・県の義援金で3次配布は手厚くなっている。宅地の再建、住宅耐震化に関し、上乘せし市の補助の強化をしている。
<b>■道路</b>	
・鵜飼大橋の復旧について、5年かかるということで、子どもの通学路が確保できない状況	・鵜飼大橋については仮橋を架ける。できるだけ早く進めたい。
・見附のマンホールが突出しているのが一個残っている。	・調査中である。できる限り早急に対応する。
<b>■通信インフラ</b>	
・街を歩いていて電波が途切れをたりする。	・国の施策として取り入れていただくように発災直後からお願いしている。
<b>■情報発信</b>	
・1回目の意見交換会の質疑応答は見れないのか。	・ホームページにアップしている。

<b>■津波対策</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・また津波が来るというテレビの報道で心配になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者とも意見交換し情報を伝えた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防潮堤、盛土を都市計画で行うなど、鶴飼春日野についても、市が宝立の事業を進めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防潮堤がないと安心できない、防波堤は何とかならないか、かさ上げが必要か、一階部分は駐車場にして高いところに住む等、住民の意見を尊重し進めたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南黒丸に住んでいる。何人かは自宅を修理して戻ってきたいと言っているが、津波の対策が必要なのは進めてもらえるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波対策に関し、宝立は国の権限代行で復旧していくので、連携して取り組んでいきたい</li> </ul>
<b>■防災</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火栓が使えない状況は復旧したのか。冬の期間南黒丸の融雪装置は大丈夫か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽は復旧したいが、手が回っていない。融雪装置はすぐに復旧できない。</li> </ul>
<b>■なりわい</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・すずなりや蛸島、正院で仮設店舗の計画が進んでいるが、見附、宝立でもプレハブ以外で進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望があればお応えしたい。仮設の場合元の事業所の場所から離れるかもしれない。近くで再建したいのであれば個人負担 1割で進められるように補助制度を整えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（店舗を再建するにも）液状化の地域でもあるので、小さい小屋でも 1000 万円となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝立の中心部はどこにするかなど、そこに商店街を作りたいのであれば、できるだけ対応していきたい。仮設店舗は県の補助制度に市が上乘せしている。</li> </ul>
<b>■交通</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの復旧はどうなっているか。復旧しないと公共交通機関として使命を果たせない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すずバスが運行している。仮設住宅の場所に合わせて路線を組んでいる。のと鉄道の転換バスの復旧の見通しは運行者との協議を進める。</li> </ul>
<b>■復興まちづくり</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がついてこれるような復興計画であってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興計画は計画を作ることが目的でなく、実現しなければいけない。皆さんとともに議論し具体的に進める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの活用は市のユーチューブ含まれるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーチューブは手つかずであるが、様々な方法で情報発信したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人が今いない。今住んでいない人で珠洲に住み続けたい人のための施策を考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある復興にしていきたい。若い人にもお聞きしながら進めていきたい。</li> </ul>
<b>■議論の進め方</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長会にお願いしたいが、はっきりと住民に意見を伺っていないので、今後しっかりと意見照会していくようお願いする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長会とも連携を取り進める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市として宝立のプランを案で示してくれると、こちらの意見が出てくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でご議論いただきたい。珠洲市としてプランも考えて、キャッチボールしながら進めたい。</li> </ul>

上戸地区

日時：8月5日(月) 18:00~20:30 参加者数：41人

主な意見 (会場)

対応 (市)

■災害公営住宅	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害公営住宅だけでなく、市営住宅でもいいので、住まい確保をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急仮設住宅は必要な方の住戸は整備をしており、退去される際の空室を目的外使用で住んでもらうことも検討したい。</li> </ul>
■自力再建	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家を解体した後について、立て直して元の場所に住み続ける場合、地元工務店にお願いできるのがベストだが、順番待ちでどこにお願いすれば良いかわからない。市役所で事業者を紹介できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種協会(石川県建築住宅センター等)がホームページなどで施工者情報を随時更新しているため、活用いただき、連絡などをとってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断や住宅の耐震化などに助成金を出してもらえると助かる。一部損壊、準半壊なども被害は少なからずあるが、国の要項などで補助金はほぼ出ず、自分でなんとかしなくてはいけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化に伴う補助は一部損壊や準半壊などでも上限まで補助は出る。県補助+市補助で最大900万円の補助であり活用いただきたい。耐震化の簡易診断は無料でできる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震の設計費も高額になると聞く。その点にも配慮いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震設計は250万円上限の補助メニューが使える。</li> </ul>
■道路	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署の横の交差点あたりの高架道路が坂になっていてスピードが出る。さらにマンホールが飛び出ている状況で運転するため危ない状況であるため、直していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体事業者には改めてスピードを出さないようにアナウンスを行う。空洞化の調査も進めたい。通信会社の飛び出ているマンホールは再度伝え、直してもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の側溝が浮き出て、自宅から車を出すのが難しい箇所もあると聞いている。対策してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場所を環境建設課にお伝えいただければ、対応できるようにしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路(農免道路あたり)をもっとスムーズに走れるようにしてほしい。前から要望しているが、生活道路であり、除雪を考えると早めに直してほしくないと困る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市でも対応を進めているところ。事業者とも協議しながら整備をするため、お待ちいただきたい。道路が抜けた箇所はシートが剥がれているようで、改善していきたい。</li> </ul>
■土地の整序	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路拡幅や集団で移転する事例もある。自分のまちでは、道路が狭いところにたくさん家があるが1人しか住んでいないところもある。道を広げることや移転することができるのか。山手のバイパスあたりに公民館や公園を移転するのに必要な手続きや手順があれば教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体撤去が進むと空き地が広がってくる、そうすると歯抜けになったまちに戻れるのかなど不安も広がってくると思う。そうした点も皆さんからご意見いただきながら検討をしたい。</li> </ul>
■防災	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月中旬に金沢大学の平松先生の説明会が非公開であったようだ。我々は話を聞くことはできなかったが、可能な範囲で内容を情報発信してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平松先生はじめ、多くの有識者が能登半島の流体の存在について研究をされている。報告会をまたできるように検討したい。</li> </ul>
■津波対策	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正院宝立海岸の消波ブロックが崩れてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の地震でも堤防は機能したとのこと</li> </ul>

<p>できればもう一つ沖に二つ目の消波ブロックを作るなどで安全な海岸整備を行なってほしい。景観が悪いのであれば、人工リーフのようなものを国に要望してほしい。また、山王川の河口に、散歩道を作れないか。</p>	<p>で、何らか海岸の対策は検討する必要はあると感じている。人工リーフは非常にお金がかかるものと思うが、国交省にも要望はしていきたい。山王川の件も要望はしていきたい。</p>
<p>・波返しにある止水板が今回の津波で流されたが対策はないか。</p>	<p>・止水板を開閉式の鉄板にするなど流されないように対策を考えたい。</p>
<p><b>■なりわい</b></p>	
<p>・飯田の港をもっと活用できるようにしてほしい。港を活性化できればお客さんもくるのではないか。</p>	<p>・飯田港の復旧は国の権限代行で実施する。シーサイドの前の埠頭がうねっているところを埋めて海からまちを遠ざけ津波からの被害を軽減するなども検討している。活性化案も国などと協議しながら検討したい。</p>
<p><b>■医療</b></p>	
<p>・歯医者がなくなったら、どうするか不安である。</p>	<p>・震災後はどこもやっておらず、車中診療などもしてもらっていた。歯医者 of 仮設店舗にしても設備やドクターの課題がある。解決できるように検討をする</p>
<p><b>■コミュニティ</b></p>	
<p>・上戸をもう少しコンパクトにすることも大切。山手側などの除雪のことを考えた場合や現在、道路に凹凸がある状況を心配している。</p>	<p>・除雪のスマート化も進めたが、今回の地震でセンサーが壊れたため、直す必要がある。コンパクト化は住む場所が故郷という人が多いと思いなかなか難しい。</p>
<p>・若い人もおり、若い人にも参加してもらおうことのできる話し合いを進めていきたいと考えている。集まる場所は課題である。</p>	<p>・話し合いの場所はどうするか。公民館には多く集まれないと聞く。</p>
<p>・コミュニティの拠点となる公民館をいい形にしていきたい。旧上戸保育所を公民館に活用するという要望もある。今ある公民館の場所に新しく公民館を建てることも聞くが、お考えはいかがか。</p>	<p>・旧保育所はアクセス、食事提供環境などは良いが、現在、応急仮設住宅として活用されており、活用は難しいと考えている。現在の公民館を壊して新たなものを建てる場合は駐車場の出入りの問題がある。旧保育所を公民館に活用することも考えられなくはないため、検討を進める。</p>
<p><b>■生活サービス</b></p>	
<p>・地震で損をしたということばかり聞く。得したと思えるような取り組みがあった方がよい。健康保険料などの減免なども検討してほしい。</p>	<p>・税の減免なども検討はしていきたい。先々復興してよかったと思える取り組みは進めていく。</p>
<p><b>■復興計画</b></p>	
<p>・復興計画の内容はいいと思った。ただ人口減少がどんどん進んでいるなかで珠洲にいることのメリットを教えてほしい。</p>	<p>・人口減少はなんとか防いでいきたい、珠洲市の魅力を活かしていくことが重要。芸術祭などを活かした復興を進めていきたい。生活再建を進めていくことも今は重要で、応急仮設住宅、災害公営住宅などの整備を進めていきたい。</p>

飯田地区	
日時：8月9日(金) 18:00~20:30 参加者数：27人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■災害公営住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害公営住宅の建設の用途はどれくらいか。家賃はどれくらいか。ペットはどうなるか。一緒に仮設住宅にいますが、公営住宅に移る際にペットと離れることになるのは悲しい。</li> <li>・自宅は改修して住みたいが、地盤改良をどうすればよいか。コンサルや業者もおらず、相談ができない状態である。情報提供いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の災害の例から言うと、建設場所が決まってから2年半。住宅を滅失した方が対象であり、国からの補助が10年間入るが、その後は普通の金額になる。周辺の方の様子を見ながら、ペットと一緒に住める住宅も検討したい。</li> <li>・地盤改良の補助は県補助でしており、市も上乘せの予定。</li> </ul>
<b>■道路</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道幅が4mない場所で家を建て替えるとき、そのままの広さで建て替える家と、新しく建て替える家があると、道路の幅はガタガタになるのではないかな。</li> <li>・家の前に水路があるが、地震で水路が20cmほど上がった。祭りをやりたくても、まちなかに出せない状況。水路も含めての都市計画を考えてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・でこぼこになってしまう。合意を得ながら進めていくしかない。用地買収も考えられる。道路の幅を広げることや区画整理をして心地よい空間にすることも進めたい。</li> <li>・地盤調査は国土交通省にも要望したい。建築士との相談会は8/12に産業センターである。</li> </ul>
<b>■土地の整序</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区画整理事業を実際にやろうとすると手間がかかると思う。飯田は広い土地を持つ地権者がいるから、商店街あたりは進めやすそうに思うが、その感触がつかめているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地主の方とはまだ煮詰めた話はしていない。これから直接話をしながら取り組んでいきたい。</li> </ul>
<b>■インフラ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱を埋めてほしい。祭りの時に邪魔であるのと、地震の後に電線が垂れたり折れたりして危ない。</li> <li>・無線通信サービスの充実は、思っているだけなのか要望を出したのかどうなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱の地中化はかなり費用がかかる。飯田の町全体を地中化するのは難しいが、一部を地中化は考えることができる。</li> <li>・現状で復旧中、NTTは光に変えていくと思っている。施策に位置付けたものは、実現できるように取り組んでいきたい。</li> </ul>
<b>■なりわい</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の店は、倒壊はまぬがれ散らかっていたが再開することはできた。これからの飯田町の再生をするにあたり、生き残った店はどういう位置にあるか。新しく再建する店と生き残った店と、町を開発するにあたり組み合わせなくてはいけないが、店は合うのだろうか。</li> <li>・商店街は歩かなくていけないため、高齢者には買</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田の町の成り立ちがどんなものかというのものもある。物流は海からと思われ、海からあがって四差路が一番交わってきた場所だと思うが、物流は随分前変わった。どこをへそにするか考えなくてはならない。</li> <li>・シーサイドをもう一度行政が再生すると</li> </ul>

## 飯田地区

<p>い物しづらい。シーサイドのような店舗が揃っているものは便利だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーサイドと商店街が運命共同体と思われ、シーサイドで買い物して、飯田町商店街をそぞろ歩きするお客さんがおり、いいリハビリと言っていた。</li> </ul>	<p>というのは、難しい。たしかに解体撤去は増えて、空き地は増えるけれどそんな大きな土地はない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南三陸のさんさん商店街を視察した。商店街というより道の駅のように、観光客が来てお土産を買う場所。ハマレの方が地域の商店街のようだったが、商店街だけでもお客さんが来づらい。ATMやシーサイドのようなものなど人が集まる仕組みを作らなくてはいけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街をつくればよいというわけではないのは理解する。飯田の魅力は一体何かということだ。他よりハイカラで進んでいるというのが飯田、イケてる場所だった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震前から人口も減って厳しい、人口が増えないといけない。安いドラッグストアに行ってしまう。今は服屋がないとよく聞く。金沢へ行くかネットかになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政で商売は難しい。外貨を稼げるような商売だったらいい。いろいろな方が集えるような場所があるといいということ。人が集まる仕掛けでもよいのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者を呼び込むには、仕事が無いと難しい。地震を機に事業を辞められた方もいるが、事業継承をするプログラムを作るなど、もともとある仕事を呼び込むようなものはいいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくいくといい。なかなか難しい。居ぬきですぐ使えるのであればいい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興商店街をやる際に全国から人を呼んできたり、地域おこし協力隊や支援員を呼んだり。生業を作っていないといけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外からやってきてもらって、チャレンジしてもらうのはよいが、住まいをどうするかという話もある。応急仮設住宅を作っている段階に、住まいの提供が難しい。</li> </ul>
<p><b>■教育</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のグラウンドに仮設住宅が立っているのがいつまで続くのか。親子議会では、友だちが減って寂しいという意見もあった。地域に子供を縛り付けるのはどうなのかと思う。月に何回かだけでも、高学年だけでも集めて授業する機会を作るなどもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田小学校では、多少なりとも子どもが走れるようなスペースは確保している。びっしりと仮設住宅が建つグラウンドには、仮設のグラウンドをこれから整備する。学校と地域は一体という考え方であり、地域で子どもを育てていく。ネットをつないで、学校を横断して合同で授業をする機会を増やし、友だちも増やす。学校の在り方の検討会を丁寧に進める必要がある。</li> </ul>
<p><b>■コミュニティ</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田は健全なる商店街で、よそから来た人を受け入れるエリアでもあり住宅地もある。それがいいのか悪いのか、まずこのまちの人たちがどう思っているのかを把握するのが必要であろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田町のこれからの考えることは大事である。どれだけ皆さんが想いとして持っているかだ。新しい飯田の町を考えて作っていくのが大事だ。若い方々で話し合いの場を設けようとしているとのことで、それに加わっていただけるといい。</li> </ul>

直地区	
日時：8月8日(木) 18:00~20:30 参加者数：24人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■仮設住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅は半壊で、金沢に行っている。全部更地にしないとみなし仮設に入れられないと言われるが、珠洲で草刈りをするを考えると、草刈り小屋一つだけ残したい。珠洲とのつながりを持ち、自分のできることをしたい人はいるだろう。</li> <li>・子どもたちのことを思うと、仮設住宅にもっと集会所を建て、ボランティアの方が炊き出しをしてほしい。冷蔵庫もトイレトペーパーもない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の機能が存在している限りは無理である。部分解体自体が相当柔軟な対応である。公費解体は全部解体である。環境省の補助事業であり、いろいろな決まりがあることをご理解いただきたい。</li> <li>・全部が整っているわけではなく、どこまで行政が担うか。子どもたちに食事をつくってあげて楽しめる取組は大事だ。</li> <li>・備品は外部から支援いただく企業と、石川県と調整をしているが、思うように進んでいない状況。</li> </ul>
<b>■避難所</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所を全て解消しなくては、復旧が進んだとは言えない。緑ヶ丘中学校には20人くらいいる。直地区の方はいないが、直地区の方が世話をしている状況。仮設住宅がいつ建つといった目途を示したり、避難所を合併したりするのがよいのではないか。</li> <li>・避難所には1日1食の弁当。もっと手を差し伸べてほしい。</li> <li>・避難所の方に優先的に仮設住宅に入ってもらい、避難所を閉めてしまわないと復興と言えない。一人ひとりへの調査ではなく、期限を設けるくらいでないとよくない。避難所では何でもやってくれるので自立ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所19箇所、233名いらっしゃる。どういう形であれば、落ち着いた場所にいけるか、その方の事情を把握しながら進めたい。無理のない範囲で集約をできればよい。19箇所の避難所を、期日を設けて閉めるつもりはない。</li> <li>・朝はパン、昼はレンジで温められるもの、一週間に一度避難所をまわり提供している。それ以外に消耗品もお渡ししている。お弁当は一食だが、そこが強調され困っている。他の自治体が止めてからも、珠洲市は続けてきた。</li> <li>・仮設住宅が全部いきわたらないと、避難所を閉めることはできない。着工すらしていない仮設住宅もある。2次調査で判定が変わるなど対象者が増える。また、地域コミュニティをできるだけ維持しようと、全員に入居いただいていない状況。</li> </ul>
<b>■公費解体</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・半壊、準半壊などの区別の点数がわからない。準半壊と半壊がなぜこんなに違うのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納得がいかない方は、3次、4次調査もされている。どうしても境目が出てしまうので難しい。地盤の傾き、耐震などは準半壊、一部損壊でも補助は入るため、活用してほしい。</li> </ul>
<b>■災害公営住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅の進め方の計画はあるが、仮設住宅と並</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ維持を図るために、どの場所</li> </ul>

<p>行して建設することはできないのか。復旧が先で復興は後だ。</p>	<p>にどのタイプを整備していくかが大事になる。市の地面や提供いただいた地面で建てることになり、区画整理をする中で出てくればよい。過去の事例では、意向をアンケートを徐々に無記名ではなく記名で実施した。</p>
<p><b>■情報発信</b></p>	
<p>・市からの公式の情報を発信しないと、間違っ た情報が信じられてしまう。なるべく早く正 しい情報や市の見解を発信していただくよ うにすると、現場の職員の方の負担も減る だろう。</p>	<p>・公式見解を出している時間的余裕とエ ネルギーがない状態が続いている。</p>
<p><b>■なりわい</b></p>	
<p>・人口が流出して戻って来てほしいと言 うが、どこに行っても若い人がいない。戻 ってくるのは80、90歳などで、支える 働く若い人がいない。高齢者に手厚い印 象。若い世代を大事にしてほしい。珠洲 に雇用する時に援助があれば、呼び込め る。</p>	<p>・一旦珠洲を離れた人に戻って来てもら わないと回らない。300万円+300万 円の支援措置も65歳以上の世帯である。 市としても、若い人への支援を考えてい きたい。</p>
<p><b>■生活</b></p>	
<p>・珠洲市にたくさんの方が（外から）来 ており、子どもを一人で歩かせるのが心 配で怖い。可能なら、巡回をより頻繁 にしていただけたら安心。</p>	<p>・発災当初、県はできるだけ2次避難を 促したかったが、火事場泥棒などを考 えたと心配で離れられない人がいるた め、パトロールをお願いした。いまだ に珠洲警察署以外の方が、日々パト ロールしている。パトカーの頻度を増 やす以外に、地域の安全をどう守るか も課題である。</p>
<p><b>■復興計画</b></p>	
<p>・専門家の話や集会所での神戸のまち づくりの会も参加したが、どこに集約 されるのかわからない。本当に反映さ れているかという疑問がある。</p>	<p>・最終的には、全体の復興計画に反映 していく。特に行政主体のものでは議 事録もとる。民間の方だけで話し合う 場もある。SNSでも計画へのご意見 をたまわっており、意見をいただけれ ばより反映しやすい。全体計画もさ ることながら、直地区のまちづくり。 ハード的なまちの形を決めて進めて いく。もっと細かい地域で、どうし ていくかが大事だと思う。</p>



正院地区	
日時：8月6日(火) 18:00~20:30 参加者数：48人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■仮設住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>仮設住宅が狭い。高齢者が多いため、災害公営住宅を早期に建設してほしい。規模、募集方法を教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急仮設住宅は、原則2年だが延長もあり得る。災害公営住宅の建設には約2年半必要であり、コミュニティや安全性、道幅なども検討しながら、建設場所を検討しなければならない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>蛸島の仮設住宅に住んでいる。駐車場が芝生で雨天時は車を停めることができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂利敷きの工事の目処がたったため、進めたい。</li> </ul>
<b>■災害公営住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が多く、災害公営住宅を希望する方が多いだろう。今後の住宅戸数や建設場所等を具体的に検討する場合、どのようにニーズ把握するのか。正院で復興計画づくりをしようとしている動きがあるため、その人たちにも来てほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区によって進め方は異なると思う。大谷地区では、区長が中心となって若手の意見を取り入れる工夫などもしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>災害公営住宅は、抽選になるイメージか。必ずしも希望した家には入れるわけではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則抽選である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>災害公営住宅の用地は珠洲市で買い取るイメージと思うが、土地の価格は開示されるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地の価格は、もとの敷地権者と新たな敷地権候補者が話し合って決める。</li> </ul>
<b>■地盤改良</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地盤改良などに基づいて再建などを進めていこうが、家の地盤状況に応じて様々な手法があると認識している。ボーリング調査などの実施をするか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理して改めて報告する。</li> </ul>
<b>■跡地活用</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ドリーム跡地の取り扱いを教えてください。現時点で活用方法の案はないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議論をしながら進めていきたい。まだ案もない。</li> </ul>
<b>■道路</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>正院で幅が4mの道路はどこが該当するか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査中である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>元の場所に住みたいと思っている人に対し、4m以下の道路では再構築できないのは、どうなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法など様々な決まり事があるのは、ご理解いただきたい。</li> </ul>
<b>■コミュニティ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>お寺が潰れて困っている。集まってもよい場所がないため、公民館などを貸してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用料をいただき、お貸しすることはできる。</li> </ul>
<b>■生活</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>墓石や寺が完全に壊れている。集合墓地、カプセル墓地も考えられないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>珠洲市でも議論はしているが、候補地の問題がありイメージはない。考えていきたい。政教分離の観点もあり、支援の仕方は検討していく必要がある。</li> </ul>
<b>■魅力づくり</b>	

正院地区	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が珠洲市に残らないと珠洲市自体の存続が危ぶまれる。どのように進めていくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力は何より大事であり、どう高めて再生していくかが大切。取組を実施するかしないかの判断基準は、実現可能性である。</li> </ul>
<b>■意見の収集方法</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が住んでいない状況で、区長が中心となり意見収集するにはどのように進めればよいか悩んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正院を離れている人もおり、集まり議論することが難しい状況は理解した。</li> </ul>
<b>■復興まちづくりの進め方</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正院地区ではこのようなまちにすべきだということを示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのあり方は、住民の皆さんと議論をしながら検討していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興塾や勉強会で正院のまちづくりについて議論した。まだ自由参加ではないが、これからは広く参加してもらい、意見をコンサルタントの方等に取りまとめてもらうのがよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今ご提案いただいた形で正院地区の意見交換を進めていくということではいかがか。(会場の様子をみながら)問題ないということと理解した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の格差が出てきており、復興に向けた動きや事例、制度を知るために勉強会などを開催してもらえるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正院の復興塾のようなすでに実施されている取組を通じた勉強会、意見交換会を開催することでお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会の時間を、仕事終わりで 18 時だと少し早いので配慮してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ多くの方に参加してほしい。遅れても参加もできる。その他 SNS などでも意見を集める仕組みがある。</li> </ul>

蛸島地区	
日時：8月27日(火) 18:00～21:00 参加者数：49人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■公費解体</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>公費解体が最優先であるが、普通なら1週間のところ10日～2週間以上かかっており厳しい状況。若い人がしびれを切らして出ていく。公営住宅等の建設を両輪で進めることが大事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公費解体は1月から県や国に要望している。昨年5月の地震では1か月50棟であり、今回は12年かかることになるため、2年にできないかお願いした。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅の前面道路に解体業者が通り、アスファルトが下がっている。自分の敷地も踏んでいかれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の敷地が踏まれている場合は修繕しなくてはいけない。公の道路が下がっている場合は復旧しなければならない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>5軒個人の家が残り、真ん中が公費解体になる状況であり、その土地に災害公営住宅をお願いする時は、土地の情報は町内で確認しなければならないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害公営住宅の建築費の3/4は国補助だが、用地取得は補助対象外である。珠洲市に提供いただければ助かるがそこだけ建てるといびつになる。情報をいただきたい。</li> </ul>
<b>■災害公営住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事をしている世帯は、公営住宅に入れないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅を失われた方が対象で、家賃は所得で変わる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高台のライスセンターからビーチホテルの農免道路のあたりは、避難所にもなっており、災害公営住宅の建設場所に条件がいい。復興計画で建設場所を示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要戸数は建設するが、場所は蛸島の皆さんで議論いただきたい。</li> <li>珠洲道路の延伸工事としてライスセンターからビーチホテルまでの三差路は県が事業をしている。完成時期は未定。</li> </ul>
<b>■液状化</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>私の家は沈下、液状化した。同じ場所に建てることは不安。津波が来る場所に怖くて住めない。安心安全が最優先である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地面の液状化の状況の調査を国に依頼しているが、きめ細やかな調査に至っていない。個人負担の軽減についても考えていきたい。</li> </ul>
<b>■医療</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>周産期医療体制の妊婦が安心して出産できる体制の確保の具体的な内容を教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>能登空港あたりに設置できないかお願いしている。金沢大と連携し、サテライト型になるか調整を進めている。</li> </ul>
<b>■コミュニティ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>蛸島には商店が一軒もなく、高齢者が飯田に買い物に行くのは至難の技である。蛸島のどこかに集約したまちづくりが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蛸島の16集落それぞれにキリコ祭りがある。集合的な災害公営住宅を建てたときに街並みや祭りがどうなるのか、地域の皆さま</li> </ul>

## 蛸島地区

	んで話をしていただきたい。
・ 災害公営住宅に 100 人ほどが住めば、クリーニングやデイサービスなど自然と生業が生まれるのではないか。	・ 既存のコミュニティは大事にしたい。集約すると商売はしやすいが、コミュニティが維持できないのも困る。地区ごとでどこがいいか考えてほしい。
・ 公民館が地域ともっと結びつけば問題ない。	・ 公民館が充実していれば学校が無くなった地域传统文化は守っていけるのか。
<b>■地区意見交換会</b>	
・ またこの会をやるのか。	・ 10 月末に 3 回目を予定しており、もう 1、2 回設けていきたい。

三崎地区	
日時：8月21日(水) 18:00～20:00 参加者数：41人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■災害公営住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害公営は各地区に作るのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意向は時間が経つにつれ変わってくる。できるだけ地域のコミュニティを維持したい。建設は国の補助が3/4で、土地取得は補助対象外であるため無償でいただけると助かる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復興住宅融資について高齢者向け債権特例は利息だけ書いてあるのだが、物価高で踏ん切りがつかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築で建築されるのであれば60歳以上はリバースモーゲージで再建可能。亡くなった後、夫婦は土地家を手放すか子どもに渡すか選択できる。</li> </ul>
<b>■仮設住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅の管理委員を決めたが、決まりの案内が来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三崎地区は早く決めたが他の地区にもお願いしている。ほぼそろったため、これから案内する。</li> </ul>
<b>■自立再建</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅再建給付金は、地盤沈下は入っていないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再宅地等復旧が該当する。最大919万円と住宅の耐震化が最大250万円。合わせて活用することができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全壊半壊にかかわらず、家を建てる方全員に200万円を配ることはできないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半壊の場合壊して建てるなら全壊と一緒に200万円を補助している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らしは3/4補助になる。ひとり暮らしでも一戸の家が欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟に対応いただいているが、国の制度でありなかなか難しい。</li> </ul>
<b>■防災</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波警報があり高台に逃げたが施設がなく、栽培ハウスで過ごした。高台に数日避難できることも復興計画に入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策として、いざというときの対応を見直さなければいけない。計画を実施することが大事。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小泊は防波堤があるところとないところがある。玄関先まで波がきた箇所の整備。寄り道パーク寺家には防波堤がない。波返しを作れないか市から働きかけてほしい。雲津の波返しは低い。伏見区の海岸を直していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防波堤がないところは県で取り組んでいかないといけない。防波堤をより強く安全にしたうえで高さをそろえていくこととなる。防波堤もいいが、波けしのテトラ等要望があれば教えていただきたい。</li> </ul>
<b>■なりわい</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅者の状況調査があった。農業面でも担い手がいるか調査をしてほしい。荒れている田んぼが目につき始めた。UIターンをいかに確保できるか。生活の基盤を持った上で農業に取り組んでいただく。スマート農業を取り入れて、2、3次産業につなげる。農地をきれいに守ることが大事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念は里山里海の再建をベースにしている。担い手の確保ができるか、移住定住につなげられたらいい。狼煙で地域づくり事業組合を立ち上げ、色んな業種の忙しいときに働きにくい仕組みも実現している。新たに農業を始める方には補助金があ</li> </ul>

	<p>る。農業ボランティアを震災の後でうまく活用している地域もある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の復興スケジュールを教えてください。市としては完全復旧するのか、荒れたところは切り捨てるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100%戻したい。復旧業者もいない中で、外部や県の農林水産部から来ていただき応急復旧を進め、およそ6割が作付けできた。来シーズンに間に合うようため池等の復旧を進めたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引退競走馬の取り組みは、目玉の競走馬を連れてくると集客が上がるため、ぜひ努力してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人気の競走馬が珠洲にいと、人の入りが見込め可能性が広がる。また、馬と触れ合うことでメンタル的にいい効果がある。</li> </ul>
<b>■移住定住</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代は、今後住み続けるか悩んでいる。移住フロントでの意見も入れてほしい。若い世代が新しい生業を作るときにも支援いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生業再建は補助制度があるが、ゼロから事業を起こすことへはない。市の補助もせいぜい200万円程度である。少し手厚くできるか考えていく。若い方の意見は移住フロントを通して意見をいただき、親子議会等でもいただいている。</li> </ul>
<b>■コミュニティ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・墓参りに来る子どもが泊るところがないから、来るなという声もあった。仮設は子供と過ごせない状況。帰省時に宿泊できる場所、集会所など維持費を行政で見えていただければいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯代も集金できていない状況で、6月議会で地区ごとに昨年の世帯数に応じてコミュニティの維持費を渡すことを決めた。支援者向けのトレーラーハウスなどもうまく活用できるといい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ施設が半壊した。再建についてどのように考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所の再建は、県の基金にあり、去年の地震の後に2/3から3/4補助になった。県のメニューが低ければ上乘せしたい。</li> </ul>
<b>■祭り</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者で集まり話をしたが、扉が固まってキリコも出せない。補助の詳しい部分について教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の制度は3年間で150万円補助ある。倉庫の修繕に使えるのではないか。文化庁で700万円くらいの補助制度もある。コミュニティの再生に向けてお祭りの復活は大事だと思っている。</li> </ul>
<b>■地区意見交換会</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから解体が進み、各地区の復興の話が出てくる。校下、あるいはそれよりも小さい区域で話が出ると思う。話し合いの時に区長が意見を吸い上げて行政にもっていきが、忙しくて人もいない。その地区の担当者が来てくれると嬉しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正院では復興塾を立ち上げ、塾長に区長会長、区長や若い人も含め定期的に集まる機会を設けている。大谷では区長が中心だが、別で若者でも集まって考えてもらい、組み合わせを進めている。すでに地区によっては絵を描き始めている。コンサル、事務局等も含めていろんな形でキャッチボールしながら進めていきたい。</li> </ul>

日置地区	
日時：8月24日(土) 18:00～20:20 参加者数：38人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■仮設住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>妻が身体障がい者になり、リハビリの院内は全部車椅子である。仮設住宅は健常者と同じ間取りの施設でベッドの前にテレビ台を置いたら通れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ムービングハウスに、バリアフリータイプはあるがとても少ない。情報は伺ってはいるが、戸数的に全てに対応できないと聞く。工夫をするため個別にお宅訪問をさせていただいている。</li> </ul>
<b>■災害公営住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>川浦は土砂災害の特別警戒区域であり、若い世代が抜けてしまった。川浦地区に災害公営住宅を建設してほしい。今後川浦に住みたい人も入れて多めに建てることも可能なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川浦に移住したい人のための災害公営住宅というのはダメのようだ。ただし災害公営住宅に空きが出たら、そのような方も入れることができる。</li> </ul>
<b>■公費解体</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>公費解体で土地が多く出てくるだろうが、市で相談するところはあるか。マップに明記し、全国の人が土地を買いたいとなるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所は不動産業はやっていない。直接的には珠洲市で取り扱うことはできないが、情報は集めたい。しかし、公には個人情報だから言えないから難しい。</li> </ul>
<b>■避難所</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>折戸以外の木の浦の住民である。道が壊れ、日置公民館へ避難ができなかった。木の浦にも、避難場所を建設してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木の浦ビレッジは指定管理だが珠洲市の施設である。津波の心配はないし、土砂災害のレッドゾーンでもない。いざという時は使っていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所と自主避難所の位置付けはどのようなものか。自衛隊ががけ崩れの道を引き返す時に、私たちを見つけてくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体制の見直しは必要。自衛隊の方々は、足で稼いで避難状況の情報を集めたと思う。誰かが足を運んで把握するしかない。</li> </ul>
<b>■インフラ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>東山中は被害が少なく、独自の水道で早い段階から使えた。水道は使えるがもともと水量が少なく人が増えると使えなくなる。これ以上増えると、使えるか微妙になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の復興基金の中にメニューとしてあり活用できないか。東山中の飲料水供給はよかった。当面のメンテナンスの話と水源の問題との両面を考えていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>電気が止まったことで施設も止まった。集落内で電気を供給できないか。小水力発電で電力をまかなうことも補助金をいただきながらできないか。集落で考え、相談しに行きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのような取り組みは、これからの復興に向けて大事である。県や国と連携しながら取り組んでいきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>風力発電は、昨年5月5日の震度6強の地震ではまわっていたが、今回の1月1日の地震ではなぜ止まり、止まったままなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風力発電機は、最初に電気がないと動かず、停電で止まっている。道が途中で壊れていて停電の復旧が難しい。</li> </ul>
<b>■なりわい</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>集落単位でまちづくりをする際、マンパワーが足りない。地域おこし協力隊を派遣してほしい。人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材が豊富にいればいい。できれば地区のことをよくわかっている人がよく、東京か</li> </ul>

## 日置地区

材の支援をお願いしたい。	ら来た人がすぐに対応可能かも含め検討する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅狼煙は雇用調整助成金を使用して営業している。12月までの助成金と聞き、以降は苦しくなる。どうすれば延長してもらえるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本と同程度であり、まさに準備中である。県庁ではいかに熊本とこの地震が違うかを財務省にデータで示して説明に行く。</li> </ul>
<b>■生活</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員をやっており、同じ地区の他の委員は珠洲にいない。委員としての活動をどうしたらいいかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の活動は重要だと思うが、今の話が現状だと思う。2人いないのをカバーするのも大変だと思う。</li> </ul>
<b>■交通</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多く電動の四輪車に乗っている人もいる。坂の下にバス停があるが、上まで来れないか。下の県道から上り坂であり、冬になると凍結するところもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日置ハウスまでバスが来ることが可能か調整している。ハイエースを考えている。</li> </ul>
<b>■復興まちづくり</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・元岩手県知事の増田さんが、能登の復興計画について女川町では若い人がまとまってうまくいったと話をされていた。珠洲ではどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女川町は60歳以下の方々を中心にまちづくりを考えていった。若い人がもっと声をあげて、自ら動いていくのがよいまちになる。</li> </ul>



大谷地区	
日時：8月2日(金) 18:00~20:30 参加者数：46人	
主な意見（会場）	対応（市）
<b>■仮設住宅</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>一里野に避難しているが8月までと言われ、どこに行けばよいのか。故郷の再生を急いでいただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急仮設住宅が完成していれば、そのような不満はなかったと思い、申し訳ない。</li> <li>二次避難者で仮設住宅待ちの方、自宅修理待ちの方などは個別に対応できると考えている。</li> </ul>
<b>■避難所</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所となる学校は教育委員会の承諾を得て使えるが、緊急事態には避難してきた人間の意見を柔軟に実現できるよう、住民に決定権を与えてほしい。</li> <li>現段階での防災についてどう考えているか。高台がないので今何かあったときに不安。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所における権限は、柔軟に対応しなければならないとは言え、学校は公の財産であるため、住民の方にすべてを任せられず、連携を密にして避難所を運営したい。</li> <li>現状の一時避難所となる。たどり着けないこともあり、応急処置と同時並行で進めている。</li> </ul>
<b>■インフラの復旧</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>清水浄水場の復旧について、通水は9月中とのこと、どのように復旧しているか教えてほしい。</li> <li>高屋港の製氷設備について、環境建設課に水道を通してほしいと伝えており、県と漁協で話し合い、具体的な決め事の前に、製氷できるか確かめたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浄水場の配水エリアである清水、片岩は川の横に浄水装置を置いて飲料水とする。浄水場区域では何とか9月には通水できるように進める。</li> <li>修繕を行い、メーターまでは通水している。一度開いて、メーターから先の状況を確認いただきたい。</li> </ul>
<b>■道路</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>真浦町の国道249号のところは緊急車両と地域住民が通れるようになるということか。</li> <li>観光としての遊歩道の整備や映えスポットの維持管理をしていただきたい。真浦の市道の工事計画の予定を教えてください。</li> <li>馬縞は山間部にかぼちゃ畑があり、現在収穫期であるが、がたがたな道でかぼちゃが傷つくため補修してほしい。</li> <li>国道249号のう回路、若山から外山を超えてくる場所の県道の幅員が狭く、家屋も危険であり、800mあるところが急こう配である。急こう配の解消や拡幅工事をお願いしたい。</li> <li>土砂が雪の重さで崩れそうな箇所がある。その点も考慮されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国交省から正式に発表されていないので、明確なことは申せない。</li> <li>強靱なインフラ整備を県でも検討しており、付加価値が高いインフラにしたい。</li> <li>振動が起きないように砂利を詰める等、農道の整備を環境建設課で進める。</li> <li>県道や国道については迅速に取り組んでいる。できるだけ安全に復旧していきたい。</li> <li>降雪で二次災害が起きないかという懸念は、リスクが高い地域は長期避難指示を出している。</li> </ul>

大谷地区	
<ul style="list-style-type: none"> <li>山崩れは国交省が来て対策を講じている。今後どのように県道の復旧を進める計画があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国直轄で対策する。県でも復旧する。</li> </ul>
<b>■土地の整序</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田町を市の中心とするのは、やめてほしい。大谷はさらに時間がかかるようになり住みにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトシティのような考えは検討していない。10 地区それぞれで考え、復興計画を立てていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>塩田村あたりの県道、それ以外は耕作放棄地で塩田が続いているところを活用できないか。UI ターンや他地区の人が移り住んでもらう場所として活用できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効活用は、地元の人が必要があれば考えてほしい。</li> </ul>
<b>■通信インフラ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害等で外浦は孤立し、情報通信が遮断された。防災無線や電源設備の設置が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大谷から歩いて峠を越えてきた方に衛星携帯をお渡ししたが、どこまで配るのか計画策定で煮詰めたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災無線が聞き取れない。片岩は細かい情報が入ってこない。携帯電話が繋がらないところに若者が戻ってくるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災無線は確認する。きめ細やかに情報発信するよう努めたい。</li> </ul>
<b>■なりわい</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>漁協の件で、片岩と清水は計画から外されている。輪島は組合に均等に 10 万円と 2 万円配布されているが珠洲は正組合員のみ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁協の支援金については、漁協で動いていたところがあるので市で把握できていなかった。連携を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高屋の製氷設備はフロンガスなので、今後解体が必要になる。蛸島も製氷機が壊れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁港はそれぞれ復旧するが、製氷施設や給油施設は県漁協あるいは珠洲支所で考えていただく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大谷は水が来てないので散髪屋が来ても髪が洗えない。移動式の散髪屋が来てほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発災時はボランティアがやってくれた。仮設店舗を設けるか、自力再建するか、場所の選定がいる。生業が早期に再建できるように対策は講じている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーや美容室が大谷になく、飯田まで行かなくてはいけないことについて、どうやっていくか相談したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大谷の中でへそとなる場所に仮設住宅を建てて、商店をしたい人がいれば行政が全額補助で仮設店舗は作れるので、動いていただければ良い。</li> </ul>
<b>■医療</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関が公民館にあったが、そういうのがあると安心する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストップしている。病院の事情や場所のこともある。具体的に進めたい。</li> </ul>
<b>■コミュニティ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大谷小中学は次年度に小学生がいなくなる。小学校が無くなるなら、大谷の人が使えるような公民館などで利用ができるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の統合は現状維持で考えている。地域と学校は一体である。しかし、厳しい状況があり、18 名の児童生徒が大谷を離れている。</li> </ul>

若山地区

日時：8月28日(水) 18:00～20:30 参加者数：37人

主な意見（会場）

対応（市）

■災害公営住宅

・上黒丸校下には10集落あるが、誰もいない、1人しかいない、3世帯しかないなどの集落が点在している。彼らを一緒に住める住宅を作る方がいいのではないか。インフラの整備がかからないことや除雪の経費が削減できるなどのメリットがある。

・上黒丸小中学校のグラウンドに、後々災害公営住宅に転用も可能な木造の応急仮設住宅の建設を始めている。災害公営住宅を本格的に建てるとなると、土地の確保から2年半くらいかかる。災害公営住宅に転用する、別の場所で災害公営住宅を改めて建てる、拠点として1か所で集中的に建てるなどの次のことを、応急仮設住宅として住まわれながらも話し合っていたきたい。

・自宅が全壊で解体になり空き地となるが、時間が経つと草が生えてくる。草刈りが大変になる。災害公営住宅として、自分の土地を使ってほしいと申し出たらできるのか。対処は考えているか。

・土地の提供の申し出はありがたいが、その前に若山地区としてどこに災害公営住宅を建てるのかを考える必要がある。無償で提供してくれる土地ありきで災害公営住宅を建ててしまうと、新しいまちの形がちぐはぐになることも考えられる。

■義援金

・自宅は一部損壊だが、昨年5月の地震で家の前から少し割れ目が入った。放置していたが1月1日の地震で割れ目が大きくなったためセメントで止めたが、日が経つと開いてきた。家は一部損壊だから金にはなっていない。

・「被災宅地等復旧支援事業」が活用できる。個人負担が2割である。一部損壊、準半壊でも対象になる。宅地の傾斜などは対象であるため、活用してほしい。

・私の家の石垣が崩れている。補助金は申請できるか。

・「被災宅地等復旧支援事業」の対象になる。環境建設課に相談してほしい。

■道路

・大谷線に抜ける県道の工事はいつから始まるか。雪が降ると大渋滞になる。

・上黒丸大谷線は元の国道249号が通れないことから、国交省の直轄事業で、広げる用地を調べて、地権者にお断りを進めているところである。年内を目途に完成を予定している。

■水道

・上黒丸に誰も住んでいない集落があり、市の水道が来ていない。災害公営住宅を建てる場合、タンクみたいなので水道水をとってくるのが可能か。共同のところと個人で水をとっていたところがある。

・上水道がないところに建てるとすると検討する必要がある。地震で水路が変わったところもあるだろう。組合、東山中飲料水供給施設などは、地域でやっている。石川県の復興基金のメニューもある。

・共同の水道に関しての修繕は、市の水道と別に、県の補助金などで可能なのか。現在、水は飲むこ

・復興計画案の中でどこまでできるか考えていきたい。水路が変わったとか、差し迫

## 若山地区

<p>とはできないが使ってはいる。やろうという声があれば修繕ができるのか。</p>	<p>った状況であれば、対応できないか早急に考えていきたい。</p>
<p><b>■移住</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害が比較的少ない家を、市外の方や全壊になった方などの誰かが借りて、マッチングを珠洲市でやっていただければありがたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・珠洲市空き家バンクを立ち上げ、10 数年やってきた。今まで移住して来られた方の家屋も、空き家バンクに登録していたところも倒壊してしまったところが多い。狼煙では、特定地域づくり事業協同組合制度を活用している。宿泊施設、酒造り、いろいろなところに派遣をし、働いている方には給料が支払われ、安定している。住まいの提供はなかなか無い。災害公営住宅は、住まいを失った方が対象であるため、復興公営住宅のようなものを国がつくってくれないか。応急仮設住宅を希望される方に全て入っていただき、空きが出れば、目的外使用として家賃は払っていただくが、入っていただくことは可能だと思う。</li> </ul>
<p><b>■なりわい</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家民宿をしており、部屋がないかと問い合わせがある。宿泊は4人までだが、空いている部屋がたくさんある。泊めたいが許可が出ていない。泊まりたい方と私の合意の上であればいいのではないかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後ほど確認し、復旧・復興本部事務局から回答させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2m段差ができた集落の田んぼがずっと続いているが、2か所の用水路から水がこないようになっていることもあり、1枚も使用できていない。来年の3月には稲作したい。1日も早く復旧してほしい。2mの段差のついた田んぼを、調査地という形で何か国の方でお願いできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢大学の地震の研究をされている平松教授から、「震災遺構にしたらどうか、あるいはジオパークとして活用してはどうか」という話をいただいている。復興計画にも震災遺構を取り上げており、どこまで震災遺構として残していくか検討する。</li> </ul>
<p><b>■地区別復興協議会の進め方</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の地域をどうするか。コンサルタントは頼めば入ってくれるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって進めるかがまだふわっとしているが、コンサルタント、市の職員なども同席させていただき、実際に形を作っていく上でキャッチボールをしながら、若山地区の形を決めていければと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・90歳になり、復興がなかなか進んでいないと思えるが、健康で長生きすることが私にできることだ。健康で笑顔でのまちづくりを進めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命は大事だ。環境が一変され、心と体の健康を維持することと、それを行政としてどうケアしていくかが大切。</li> </ul>